



謹賀新年



井の頭池 2025・初日の出



宇賀神像

ご来光! 青々と澄んだ空に輝くご来光の姿にどよめく歓声。どの方の目にもご来光が反映して生き生きと輝く瞬間。今年も早朝から井の頭公園に通う事務長は干支の宇賀神様もお参りできたと自慢気でした。

かんたきでの年末年始と感動! 私は、かんたきで年末年始の食事作りに没頭していました。

1週間、お泊りをされていた6人の方々と大晦日を過ごし、初詣に出かけました。普段と違うお付き合いの中で、Oさんは、お参りで階段を手すりにしがみ付きながら登り降りをし、歩けない人が歩きだしたのです。その方は、その後、途中で放置していたぬり絵を家で額に飾ると決めて完成させました。丁寧に色をぬり、説明をしてくれて、大事そうに抱えて自宅にもち帰りました。彼の病名は脊髄損傷です。

もう一人のTさんは、パーキンソン症状で振戦が強く車椅子を利用しています。病名は一型糖尿病ですが、脳神経系の検査中です。何とか前のように歩きたいが希望で頑張っています。老いに病に正面から向き合っている皆さんに感動を頂いています。

かんたきは、誕生して7年目の春、スタッフは、24時間365日休みなく交替で奮闘開始です。

重篤の方のご支援に緊急対応…訪問看護

暦の上では連休続きでしたが、訪問看護スタッフは年末年始もその方に必要な訪問を手分けして行いました。

特に重篤な方3名には、山本英子管理者を中心に時には一日3度の訪問等対応したことで、皆さん快方に向かうことができています。

おかげさまで事業開始から26年、全ての皆様に感謝申し上げます



私の夢は、15歳の時に抱いた「僻地で看護を届ける仕事をしたい」を追い求めての現在です。看護師として62年間、事業立ち上げから26年、皆様のご指導のもと看護と介護の仕事が楽しく出来てきたことに喜びと感謝いっぱいです。

2025年は、密度の高いやりがいのあるこの仕事を、安心して次代に繋いでもらうために、元気であり続けることと、これまでの経験を生かしてのいざという時の支えも私の役割と気付かせて頂きました。

多摩たんぽぽのスタッフは、一致協力して奮闘してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

2025年元旦

有限会社多摩たんぽぽ介護サービスセンター

取締役 千葉信子